



## 1万人会員実現プラン（組織拡大指針）案

### 組織対策委員会

#### 1. 1万人会員実現プラン（組織拡大指針）案

結成時からの目標である1万人会員の早期実現に向けて、組織拡大方針を見直します。具体的には、以下の課題について、一定の指針（1万人会員実現プラン）を策定し、2022年度以降の活動方針に反映させます。

##### 1) 組織拡大目標の再設定

従来の拡大目標を新入会員拡大目標に変更する。

シニアクラブの単年度の新入会員拡大目標を次のとおりとします。

①シニアクラブ全体の目標10%

②地方シニアクラブの目標

イ. 会員数301人以上5%   ロ. 会員数300人以下10%   ハ. 会員数100人以下20%

##### 2) 新入会員拡大に向けての取組み

(1) 単組シニア組織からの加入促進については、単組シニア組織と連携協力し、単組シニアからのシニアクラブ入会者を拡大します。

(2) シニアクラブ未加入組織の加入促進については、JAMシニア未加入の単組シニア組織に働きかけ、入会者を迎えます。

(3) 個人加入の促進については、地方、地協役員OBを中心に、個人加入を促進します。この場合、地方シニアに、個人加入者の会（長野）、合同シニア（千葉）、JAM京都OB会、などの個人加入の受け皿組織をつくります。

(4) 地協役員OB会との連携については、今後全国130地協につくられる地協役員OB会と連携し、地方シニアへの入会を促進します。

##### 3) 単組シニア組織の拡大

(1) 「単組ごとの高齢者組織設立」の基本方針（JAM第2回定期大会決定）について、地方現役役員と地方シニア役員で再確認し、単組への協力要請を行いません。

本部においては、組織グループと連携し大手労組会議構成組合を中心に協力要請を行います。

シニア組織の設立については、組合役員OB組織、会社との合同OB組織などあらゆる形態の組織を含むものとします。

(2) 60歳以降継続雇用者の組織化

「60歳以降継続雇用者に対する対応」方針に基づき、単組、会社と連携協力し、組合員化が実現するまで継続雇用者については、OB組織への加入を促進します。また、組合員化された場合もシニア組織強化のため、組合役員経験者のOB組織加入（組合との二重加入）を要請します。

(3) 65歳継続雇用終了時の取組み強化

継続雇用終了（現行は65歳）で、職場を離れる社員に対するシニア組織への加入要請活動を強化します。組合員化されている場合は現役との協力を得て、組合員からOB組織の会員へと切れ目のない形で移行を図ります。

##### 4) シニア共済等相互扶助活動を活用した入会者の拡大

シニア共済、葬儀支援サービスなどの相互扶助制度を活用できるシニアクラブのメリットをPRし会員拡大につなげます。

尚、会員メリットを拡充するためのシニア共済の制度改善や新たな相互扶助制度の導入を検討していきます。

##### 5) JAM現役への支援要請

シニア組織の拡大は、JAM現役（本部、地方、単組）の強力な支援なしに実現することは出来ません。連携強化懇談会等でシニアクラブ組織拡大活動への協力を粘り強く要請するとともに、政策実現活動などJAM運動への参加と協力を通じて、シニア組織に対する理解を深め、シニアクラブの拡大強化を現役JAMの課題として共有化してもらうことが必要です。

##### 6) 本部としての組織活動の取組み

###### 1) 新たなPR器材の作成

組織拡大強化活動に資する新たな器材を作成します。

スタイル           A4 両面印刷・両観音折り

対 象               退職者（継続雇用終了者含む）

地方シニア版   地方シニアの希望により、地方版を作成します。

###### 2) 組織拡大の経験交流

諸会議を通じて、地方または単組シニアの以下のような組織拡大の取組みの経験交流をはかります。

- ・ 単組シニアにおけるJAMシニア会員の拡大の取組み
- ・ JAMシニア未加入組織の加入への取組み
- ・ 65歳継続雇用終了者の組織化
- ・ 地協役員OB組織の取組み

また、地方、単組シニアの活動に資する「組織活動事例集」を発行します。